

# 生物 多様性の 保全



生物多様性は地球環境問題の一つとしてクローズアップされています。ある場所に生息する生き物の種類が多ければ多いほどその場所は多様性が高いということです。ある種類がその場所からなくなる(絶滅する)と、その分、多様性が減ります。絶滅の恐れのある種類はレッド・データ・ブック(RDB)という本にまとめて、その保護対策を検討します。日本では、国(環境省)と各県がそれぞれのRDBを作成しています。生物多様性を保全するため、まずは色々な生き物が元気に暮らせる環境が必要です。われわれの住む北総地域では、人の手の届かない原生自然よりも、稲作農業や森林管理など、風土に根差した伝統的な生活スタイルの結果として生み出されてきた農村景観が大きな役割を果たしてきました。例えば、田んぼや用水路、または里山や薪炭林と呼ばれるクヌギ・コナラの雑木林が、生活の場だけではなく、様々な生き物を育む貴重な自然環境でもあります。



そこで、(仮称)佐倉西部自然公園は、水田や湿地、小川などの水辺環境と、雑木林、竹林、植林などの森林環境がバラバラに分裂するのではなく、一つの連携セットとして残り、公園の整備として市と市民団体の協力で再生されています。

この自然公園は多くの生き物にとって、なくてはならない環境に成りつつあります。例えば、県のRDBにAランク(最も危ない状態)として指定されているニホンアカガエルは、普段は森林に棲んでいます。浅い水で繁殖します。水と森がその間に障害物なしで繋がっていないと暮らせません。今はこのカエルが、畔田沢の下流に谷津田(やつた) (谷津で作る小さな田んぼ)を再生した「生きものの田んぼ」に卵を産んでいます。また、河川改修の工事を受けていない畔田沢には、県と国の両方のRDBに載っているトウキョウダルマガエルにとって最適な棲みかとなっています。カエルがたくさんいるとそれを食べるヘビも増えて、食物連鎖のトップに立ち、カエルやヘビを餌にするサシバ(県や国のRDB種)も、自然公園でよく見かけるようになりました。



## Hokuso Storybook Otatsu the Faithful Nursemaid



Suketane, the Lord of Usui Castle, died at a very young age. His only son and heir Takewakamaru was a little boy of three years old at the time. Suketane's brother Taneuji was appointed as the boy's ward. But Taneuji was a wicked man. He plotted to kill Takewakamaru so he could take over the castle for himself. Takewakamaru's faithful nursemaid Otatsu discovered the plot, and



helped Takewakamaru escape to Kamakura. Taneuji was enraged when he learned that the boy had escaped. He sent his soldiers to kill Otatsu. The nursemaid hid in a reed bed, but just as the soldiers were passing by, she coughed. The soldiers

found her and beheaded her right there on the spot. Later, Takewakamaru grew into a great warrior. He came back and killed his wicked uncle. People in this area still venerate the spirit of the faithful nursemaid Otatsu. They make offerings of tea or roasted barley flour at her shrines, and she helps them recover when they catch a cold.

Suketane 祐胤・Lord 殿様・die at a young age 若く死ぬ・heir 後継者・Taneuji 胤氏・appoint 任命する・ward 後見人・wicked よこしまな・plot もくろみ・take over 乗っ取る・faithful 忠実な・nursemaid 乳母・Otatsu 阿辰またはお多津・enraged かんかんに怒っている・reed bed 葦原・just as ちょうどその瞬間・cough 咳をする・behead 首をはねる・on the spot その場で・uncle おじ・still 今もなお・venerate あがめる・spirit 霊、魂・offering ささげ物・roasted barley flour 麦こがし・shrine 神社、祠・recover 治る・catch a cold 風邪をひく

## 佐倉のカントリー ハイク

ユーカリが丘<-->畔田

Vol.1



Enjoy a short hike  
in the beautiful  
Japanese countryside!



台地と谷津が複雑に入り込んでいる北総のカントリーサイド(農村景観)は、日本の美しい原風景を残し、生き物のにぎわいに溢れ、四季折々に姿をめまぐるしく変えます。この景観遺産を保全して、つぎの世代に伝えなければなりません。

制作

ケビン・ショート(東京情報大学環境情報学科)

発行

東京情報大学総合情報研究所

デザイン

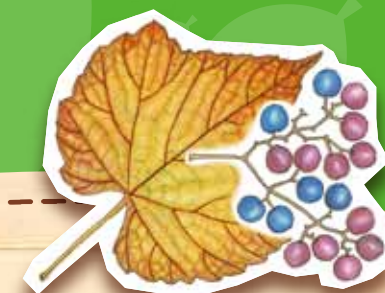
株式会社 高千穂ネットワーク

協力

MICHY, SATO, YURIKA, 西木裕次郎,  
田中健太, 株式会社マックユーエン・プロ



## Countryside (農村景観)の 魅力



佐倉市ユーカリが丘は交通機関も便利、都市機能の充実したオシャレな街です。ところが、住宅街から足を一歩踏み出せば、そこからは景観が一気に変わって、別世界が広がっています。田んぼや畑、雑木林、小川など、いにしえから暮らしの営みによって育まれてきた環境が色濃く残っています。このように、長年を通して人と自然の共存から生み出されてきた農村景観は、イギリスではカントリーサイドといって、国民に深く愛されてきました。佐倉の農村景観も、個性豊かな文化、暮らし、歴史、自然などに恵まれて、訪れる人の胸を打ち、その想像力を呼び覚ましてくれます。



## カントリー・ハイクに 出かけよう!

農村景観の魅力を満喫するなら、なによりも良いのはちょっとしたカントリー・ハイクです。ウォーキングは気分転換になるし、健脚やダイエット効果もあります。しかし、農村景観の中を通るカントリー・ハイクなら、身体的な効果だけではなく、知的な楽しみもたくさんあります。美しい原風景の中に野の花や稔の秋を通して四季の移り変わりを見つけ出したり、植物や生き物と直接触れ合ったり、歴史や暮らし、文化などについて学んだりすることができます。そこで、周辺の農村景観の魅力に最も触れることの出来る道を選んで、約7~10キロの半日コースを紹介します。

JUST GO FOR IT!